

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<1/4>

参考値

(データ集約：1/7)

採取場所	運用補助共用施設 3 階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3 階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3 階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空気中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成24年12月21日 9時03分 ~ 平成24年12月22日 15時34分		平成24年12月21日 9時10分 ~ 平成24年12月22日 15時28分		平成24年12月21日 8時56分 ~ 平成24年12月22日 15時22分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	－	ND	－	ND	－	
Cs-134 (約2年)	1. 1E-07	0. 00	9. 4E-08	0. 00	7. 4E-08	0. 00	2E-03
Cs-137 (約30年)	2. 2E-07	0. 00	1. 8E-07	0. 00	1. 5E-07	0. 00	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○. ○E-○とは、○. ○×10^{-○}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-8Bq/cm³、Cs-134が約7E-8Bq/cm³、Cs-137が約9E-8Bq/cm³。

粒子状のI-131が約3E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<2/4>

参考値

(データ集約：1/7)

採取場所	運用補助共用施設 3 階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3 階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3 階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空気中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成24年12月24日 8時53分 ~ 平成24年12月25日 8時54分		平成24年12月24日 9時01分 ~ 平成24年12月25日 9時00分		平成24年12月24日 8時48分 ~ 平成24年12月25日 8時48分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	－	ND	－	ND	－	
Cs-134 (約2年)	1. 6E-07	0. 00	1. 2E-07	0. 00	1. 6E-07	0. 00	2E-03
Cs-137 (約30年)	2. 7E-07	0. 00	2. 9E-07	0. 00	2. 9E-07	0. 00	3E-03

- ※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。
- ※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。
 - . ○E-○とは、○. ○×10^{-○}と同じ意味である。
 - その他の核種については評価中。
- ※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。
- ※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。
 - 揮発性のI-131が約4E-8Bq/cm³、Cs-134が約9E-8Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。
 - 粒子状のI-131が約3E-8Bq/cm³。
 - ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<3/4>

参考値

(データ集約：1/7)

採取場所	運用補助共用施設 3 階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3 階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3 階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空気中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成24年12月25日 8時58分 ~ 平成24年12月26日 8時40分		平成24年12月25日 9時05分 ~ 平成24年12月26日 8時45分		平成24年12月25日 8時53分 ~ 平成24年12月26日 8時34分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	－	ND	－	ND	－	
Cs-134 (約2年)	1. 8E-07	0. 00	1. 9E-07	0. 00	2. 5E-07	0. 00	2E-03
Cs-137 (約30年)	3. 1E-07	0. 00	3. 1E-07	0. 00	3. 4E-07	0. 00	3E-03

- ※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。
- ※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。
 - . ○E-○とは、○. ○×10^{-○}と同じ意味である。
 - その他の核種については評価中。
- ※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。
- ※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。
 - 揮発性のI-131が約4E-8Bq/cm³、Cs-134が約9E-8Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。
 - 粒子状のI-131が約5E-8Bq/cm³。
 - ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<4/4>

参考値

(データ集約：1/7)

採取場所	運用補助共用施設 3 階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3 階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3 階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空気中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成24年12月26日 8時43分 ~ 平成24年12月27日 15時33分		平成24年12月26日 8時47分 ~ 平成24年12月27日 15時38分		平成24年12月26日 8時37分 ~ 平成24年12月27日 15時29分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	－	ND	－	ND	－	
Cs-134 (約2年)	8. 3E-08	0. 00	1. 2E-07	0. 00	9. 5E-08	0. 00	2E-03
Cs-137 (約30年)	1. 4E-07	0. 00	1. 4E-07	0. 00	1. 3E-07	0. 00	3E-03

- ※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。
- ※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。
○. ○E-○とは、○. ○×10^{-○}と同じ意味である。
その他の核種については評価中。
- ※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。
- ※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。
揮発性のI-131が約3E-8Bq/cm³、Cs-134が約7E-8Bq/cm³、Cs-137が約8E-8Bq/cm³。
粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³。
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。